



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成28年1月1日

賀正

2016年3月26日

北海道新幹線開業




JR北海道 H5系 (提供: JR北海道)

新年明けましておめでとーございます。



理事長
西 秀 記

昨年の国内経済は、「三本の矢」からなる経済政策を一体的に推進してきたことから、デフレ脱却と経済再生に弾みがつき、有効求人倍率が22年ぶりの高水準となるなど、経済の好循環が回り始めた年となりました。新年には、この好循環が2巡目、3巡目と回り、全国津々浦々に至るまで景気回復が実感できる状況になるよう期待します。

昨年問屋町の動きとしては、2社の組合員が施設を新築されました。現在も2社が新築着工中で、来年にはさらにもう1社新築予定があり、組合員施設のリニューアルが図られております。

また昨年は、全国中小企業団体中央会の平成27年度卸商業団地機能向上支援事業を活用して特別委員会を設置。「地方創生に寄与する青森総合卸センターの流通機能向上策について」をテーマに、青森市経済の現状分析や他地域との比較、卸団地に求められる役割や流通機能向上策の策定などの検討に入りました。当検討結果は報告書にまとめるほか、調査結果を広く公表する予定となっております。

その他、昨年6月には、当組合の職場の健康づくりに関する取り組みが評価され、青森市より「あおもり健康アップ実践企業」に認定されました。同じく6月には実験事業として、蛍光灯の無償共同回収がスタートし、これまで1,300本もの蛍光灯が回収され、組合員より好評を得ております。また、経済産業省の省エネ補助金を活用し、共同倉庫及び物流センター照明のLEDランプへの切り換えを実施いたしました。

さて、今年組合創立から49年目を迎え、記念すべき50周年に向け問屋町ならではの事業展開を進める年であります。特に一昨年から実施している「問屋町ブランド戦略」を引き続き実施し、卸団地の企業価値(立地、認知度、景観)を高めるほか、流通機能向上支援策をもとに、今まで以上に組合員の皆様の事業活動をサポート出来るよう努めてまいります。

青森市では3月に北海道新幹線開業、中国・杭州便の就航や豪華客船も多数入港することが予定されており、陸海空からたくさんの方々が訪れ、経済が活性化されることを願っております。

新しい年が、組合員皆様の更なる発展につながる良い年でありますよう心からお祈りいたします。

問屋町ビジネススクール
28年度カリキュラム承認
第7回理事会

12月16日(水)に第7回理事会が開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは過去最多の受診者数となったインフルエンザ予防接種について報告を行った。

主な案件審議は次のとおり。案件一、問屋町ビジネススクール運営委員会からの意見について

案件二、組合員跡地買取資金の借換えについて
案件三、平成27年度第8回理事会の日程等について

充実したセカンドライフを送るために
セカンドライフステップアップセミナー

一般社団法人青森県経営者協会が主催するセカンドライフステップアップセミナーが12月9日に問屋町会館で開催され、組合員従業員11名が参加した。

「充実したセカンドライフを送りたい」多様な働き方、過ごし方を考える」をテーマに、年金や社会保険について特定社会保険労務士の佐々木友浩氏が説明した。

佐々木氏は「年金の受け取りを繰り上げた(早めた)時は17年目からマイナスに転じ、繰り下げ(遅らせた)時



セカンドライフステップアップセミナー



昨年の合同厄払いの様子

- ①日時 平成28年2月4日(木) 午後零時15分～午後1時
- ②会場 問屋町会館
- ③募集人数 30名
- ④参加料 2,000円 (記念品・お礼・お守り含む)

- 12月
 - 2日▽商団連若手事務局長・事務局長候補対象勉強会 発足準備会
 - 3日▽問屋町経営同友会忘年会
 - 4日▽みち銀問屋町支店グリーニングクラブ総会・忘年会
 - 6日▽中小企業組合士検定試験
 - 8日▽青森中金会役員会・講演会
 - 9日▽青森県経営者協会セカンドライフステップアップセミナー
 - 11日▽第1回問屋町ビジネススクール運営委員会
 - 14日▽青森市勤労者互助会連

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てをたまわり厚くお礼申しあげます。本年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申しあげます。

青森問屋町配送(株)

代表取締役 西 秀記
常務取締役 赤坂 晃

12月15日(火)に問屋町会館で組合員昼食会が開催され、組合員ら42名が参加した。はじめに、「歯周病と全身の健康」をテーマに、一般社団法人青森市歯科医師会常務理事でありヤマダ歯科・矯正歯科クリニック院長の山田淳一氏による、歯周病予防についての講話が行われた。

歯の表面に自分達を覆うように張り、免疫や薬の効果を妨げ、増殖を続ける。このバイオフィルムを取り除き細菌を除去するためには、しっかりとクリーニングが必要となる。また、この細菌が血液中に入ること、高血圧、動脈硬化、肥満、肺炎、骨粗しょう症、糖尿病や心臓病等を引き起こす原因となるため、口腔内のケアは全身のケアでもあると説明。

山田院長は「喫煙は歯周病を悪化させる最大の原因。ニコチンは歯周病の症状を現れにくくし、前触れなく突然歯が抜けることもある。受動喫煙により、家族の歯肉も黒くなる」と禁煙を勧めた。



組合員昼食会

業務報告

…主要事項…

- 15日▽金融審査会
- ▽組合員昼食会
- ▽あおもりコンビュータ・カレッジ運営委員会
- 16日▽第7回理事会
- ▽青森市高度化事業団体連絡協議会幹事会
- 21日▽青森市産業振興財団理事会

…問屋町ビジネススクール…

- 3日▽ビジネスマナー研修(報告・連絡・相談編)
- 8日▽給与実務の基礎の基礎(税金編)①
- 10日▽給与実務の基礎の基礎(税金編)②

北日本流通ヴァン(株)

代表取締役 橋本 昭一
取締役副社長 西 秀記
専務取締役 藤本 和夫
常務取締役 森山 慶一

新年のメッセー

(協)青森総合卸センター事務局職員



専務理事
藤本 和夫

昨年の正月に「節食と時間管理が鍵だ」と年頭の誓いをしながら結果的に4kg太ってしまいました。個人的願望は見事に裏切られてしまいました。仕事上は年年初に懸念されていた複数の課題を何とかクリアすることができました。これも赤坂局長以下職員の頑張り、組合員の皆様と当団地の大星神社のお陰様と感謝しています。今年にはプレ50周年の年ですが準備を怠りなくしたいと思います。近年「チャンスの女神に後ろ髪はない」をモットーにしています。今年もその前髪を何とか迷わず掴みたいと思っています。



理事・事務局長
赤坂 晃

昨年は、問屋町会館前のイチヨウの街路樹に数個の実が付きましました。組合事務局に40年弱通っておりますが、初めてのことで雄でも実をつけることを知り感動と驚きを覚えました。これも異常気象(30年に1回以下で発生する現象)の影響なのでしょう。本年は、この異常気象が頻繁に



総務課長
張山 歌子

発生しないことを願い、組合員皆様ますますご発展出来る年になるよう心からお祈りいたします。



業務課長
小田切 勇治

昨年、ある研修会にて、「願い事、実現しなかったら強く願っていない証であり、強く願わなければ努力はしない。少しの努力では願いは実現しない。」と講師の方がおっしゃっていました。なるほどなあと感じます。私は、昨年ある目標を立て、実現するために時間の調整(週末は朝5時起床)等を図り実現することができました。今年もまた、仕事・私事で目標(願い事)を立て、実現できるよう頑張りたいと思います。

昨年は本厄でしたが平穏に過ごすことができました。きっと大星神社の御加護のお蔭ですね。成功の反対は失敗ではなく、何もしないこと。新年も健康を第一に、いろんなことにチャレンジしたいと思います!



業務課長代理
西田 一実

昨年の当欄にて5kgのダイエットを宣言しましたが、昨年末に体調を崩し、期せずして体重が5kg減りました。今年も積極的に体を動かし、健康的な肉体づくりに励みます!



総務部主査
五十嵐 敦

昨年の春から、学生の頃やってきたバレエボールを始めました。10年間のプランクと、4年前に痛めた腰のヘルニアの影響がとんでも不安でしたが、今のところ順調で体力づくりという気分転換になっていると思います。今年も楽しみながら続けていきたいと思っています。



業務部主査
佐々木 秀家

組合では健康事業に積極的に取り組んでいます。業務対策事業を担当している自分が一番不健康です。新年はもう少し健康的になれるよう頑張ります。



業務部書記
春山 心仁

昨年は物と時間の整理がうまく出来なかつたと反省しております。今年こそはきれいな机で余裕を持った仕事が出来よう頑張りたいと思います。



総務部主査
成田 賀子

昨年、ゴルフは指折りしか行けなかったのが悔しいです。嬉しかったことは、プランターでぶちぶよ(ミニトマト)が大成功!(ほぼ旦那まかせ)申年は赤が縁起物らしいので、今年からは地植えに挑戦!(多分食べる専門)和讃にも興味があるので始まろうと思っております。



総務部主査
田中 静香

これまであまりお医者様のお世話になることなかった私ですが、昨年は病院をはしごしたりと、身体の衰えを自覚した1年でした。今年是我が身を労わりつつ、仕事に励みたいと思っています。



総務部主査
鎌田 綾野

昔よく「20代はあつという間」と聞かされていましたが、本当にその通りだと最近実感しています。20代もあと3年!だんだんと寒さに弱くなってきているので、ヒートテックは極暖に切り替えて体調管理をしっかりし、充実した1年となるよう頑張ります!



郵便局窓口担当
鶴谷 優子

昨年7月から簡易郵便局の窓口担当になりました。まだまだ分からないことも多く、ご迷惑をおかけしております。



問屋町ストアパート
成田 あすか

今年はあるべくお待たせしないことを目標に頑張ります。皆様のご来局お待ちしております。

昨年も皆様に問屋町ストアをご利用していただき誠にありがとうございます。今年も一年頑張つてまいりますので、問屋町ストア共々よろしくお祈りいたします。



問屋町ストアパート
外崎 由佳

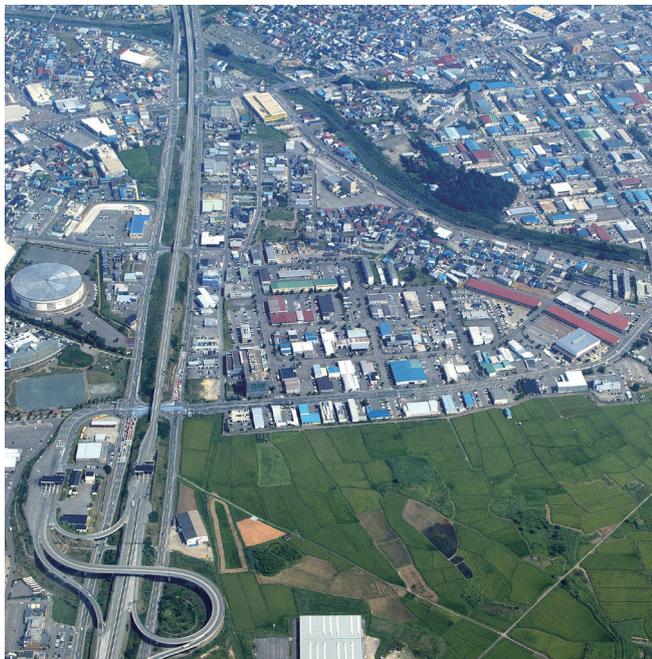
昨年は、木曜日に加え月曜日も始まり、珍しい野菜をたくさん知ることができました。今年も旬の野菜やスイーツと共に皆様のご来店お待ちしております。



青森問屋町配送(株)業務部長
佐藤 博善

昨年は、組合員の皆様をはじめ多くの方々に大変お世話になりました。誠にありがとうございます。今年の目標として、個人的には、昨年末に長年使用していた携帯電話が壊れたため、スマホデビューをしたものの、全然使いこなしていません。人並みに使えるようにがんばろうかなと思っています。会社的には、車両の稼働率を上げることで、大小にかかわらず、社員一同、絶対に事故を起こさないことを徹底し、今年もがんばっていきます。

平成28年（2016年）は 卸団地から問屋町ビジネスパークへ 将来を見据えた新たな運営ビジョンの模索



**創立50周年を契機に
新たなステージへ**

昭和42年に設立した当組合は、来年10月に創立50周年を迎える。半世紀の間には、歴代理事長をはじめ役員・職員、組合員が一致団結し、第二問屋町の拡張や青森中央インターチェンジの開通、公共下水道への接続、景観事業など様々な事業に果敢に取り組み、青森市最大の流通拠点として発展してきた。

平成28年はその節目の年に向けての大事なテイクオフの年である。時代の変化を的確に捉え、これからの5年、10年も組合員と組合が共に発展し「問屋町ブランド」を確固たるものにすると同時に、卸団地からビジネスパークへ飛躍するための組合運営ビジョ

ンを模索していく。

**卸売業を起点とした
地方創生方策の策定**

全国的にはアベノミクスや震災復興特需等による経済効果で景気回復の動きが見られるが、青森市を含む地方都市では依然として厳しい経済環境が続いている。国では各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、まち・ひと・しごと創生本部を立ち上げ、地方が自らの地域に合った地方創生施策を策定することを求めている。

これを受け、当組合でも平成27年度事業として、全国中小企業団体中央会の卸商業団地機能向上支援事業を活用し、卸売業・流通業を中心とした

平成23年10月に開校し、5年目を迎える「問屋町ビジネススクール」。組合員だけではなく一般企業や市民にも広く開かれていた当スクールは、これまで延べ2千5百名を超える受講者が利用している。青森市が策定した「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても地域の経済力底上げに向けた人材育成への取り組みが盛り込まれており、青森市内唯一のビジネスマンに特化した研修施設である問屋町ビジネススクールに



人気講師による営業研修

**問屋町ビジネススクールで
地域経済の担い手を育成**

青森市内中小企業活性化方策の策定に取り組んでいる。当事業により青森市における現状と課題をきちんと分析・整理することで、地元中小企業を中心とした組合員が今後取るべき方向性が明確になる地方創生方策の調査検討を行っている。報告書を28年2月にとりまとめるほか、青森市内経済団体と連携し調査結果を広く公表するシンポジウムの開催等を行い、地域経済活性化の一助となることを期待する。

問屋町の街づくりは、景観整備プランニングの策定を受け、平成17年度から本格的にスタートした。これまでの11年間でハード、ソフト両面で景観整備事業を進めた結果、無機質でコンクリートの印象が強かった問屋町は、スタイリッシュなデザインと花やハーブに彩られたビジネスタウンへと変貌を遂げた。



花やモニュメントによる景観整備

**街づくりは
景観×安心・安全へ**

期待される役割は大きい。28年度は、新たな講師と共にこれまでになかった新規講座の開催や、企業の課題をより具体的に解決できるグループコンサルティング方式の導入などに取り組み、今まで以上に充実したカリキュラムの提供を目指していく。



インフルエンザ集団予防接種

**問屋町を青森市南部地区の
健康づくりの拠点に**

青森県・市の平均寿命が全国的に下位にあることを受け、組合では平成26年度から問屋町健康事業を立ち上げ、組合員従業員の健康づくりをサポートしている。

従来からの集団健康診断の内容充実をはじめ、インフルエンザ集団予防接種では、27年度には65社630名が受診するなど着実に成果を上げている。これらの活動が評価され、組合は青森市の「あおもり健康アップ実践企業」に認定された。

新年度も組合員従業員の日々の生活習慣を見直す一助となるような情報を積極的に提供するとともに、卸団地の立地を活かして周辺に住む一般市民も巻き込んだ健康事業を展開していきたい。